

はじめに

日産財団では、理科教育助成対象校の1年目の活動状況を把握するため学校訪問を実施しています。それぞれの学校の実践内容を、日産財団ニュースレターで紹介していきます。

■ 神奈川県 相模原市立青葉小学校

長年 国語科で培ってきた 言語能力やコミュニケーション力を活かした授業作りを公開研究会で発表



友だちと教えこしながら自分のおもちゃを改良



食塩は水の中でどのように溶けていったのか、短冊に記述



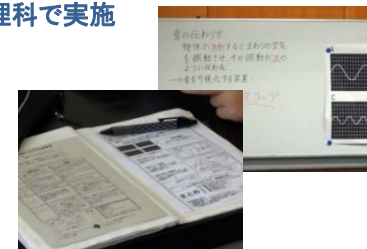
活発に意見が交わされた協議会

■ 福島県 相馬市立向陽中学校

科学的思考能力の向上を目指した研究授業を 第1学年の理科で実施



iPadをオシロスコープとして使い、種々の音を可視化。単なるモバイルパソコンとしてではなく、実験教材として活用



ICTを導入した授業の成果は、子どもたちの学ぶ姿の変容からも読み取れる

■ 福島県 いわき市立錦東小学校

低学年向けサイエンスショーと6年生の公開授業を実施



「とぶ、うかぶ」をテーマに 驚きのサイエンスショー



てこを傾ける動きは、支点から力点までの距離や加える力とどのような関係？

■ 神奈川県 横須賀市中学校教育研究会理科部会

■ 神奈川県 横須賀市立大楠中学校

神奈川県公立中学校教育研究会理科部会 横須賀地区研究大会が開催され、大楠中学校も 研究授業を実施



記念講演は、『ちきゅう』で未来を掘る』



日産財団もブース出展



大楠中学校も3年2組の生徒40名を会場校に引率し、黒メダルとヒメダルを用いた「生命の連続性」の授業を公開

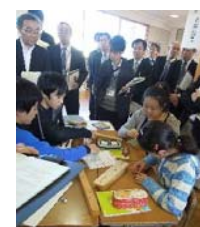


■ 栃木県 宇都宮市小学校教育研究会 理科部会

第39回栃木県小学校理科教育研究大会 宇都宮大会を開催



温度による空気の変化のきまりを見つける



身近な道具に利用されているこの仕組みを理解



約170名が参加した授業協議会

■ 福岡県 福岡市立四箇田小学校

子どもたちが実感できる学習活動を取り入れた 公開授業研究会を開催



月の見え方は太陽とどのように関係しているのか



写真をプリントに貼付すると、規則性が見えてきた



実験結果はクラスで共有